

代表者名	小山田 雍	所管部課名	教育庁 保健体育課
所在地	秋田市山王三丁目1-1	設立年月日	昭和 55年 1月 29日

【沿革及び県の出捐理由】

秋田県における学校保健に関する調査研究及び学校保健思想の普及啓発をはかり、学校保健の向上に寄与するため学校医をはじめとする有志と県が基本財産を拠出し、公益事業の実施団体を設立した。(学校保健の一層の推進)

【出捐者】(17年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	20,000	37.0
市町村	42	2,000	3.7
その他		32,088	59.3
計	43	54,088	100.0

【事業】

主たる業務

学校保健思想の普及啓発、広報。
児童生徒の健康の調査研究。
学校保健関係者の指導研修、顕彰。
研修会、講習会の開催、関係機関との連携。

事業実績

(回)

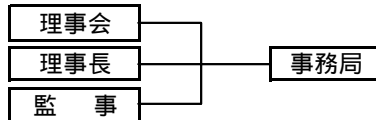
事業名等	14年度	15年度	16年度
学校保健対策事業	32	31	30
保健室相談活動研修			
学校保健研修会			

16年度事業概要及び17年度事業計画・目標

16年度事業概要 基礎データの収集と分析、巡回相談事業、歯の健康教室ほか
17年度事業計画 基礎データの分析によるソフトを配布、健康診断を行っていない地区での実施
寄付募金活動の現状維持、管理費の節約

【組織】

運営機構



役員数

(人)

	理	事	監	事
常勤				
内、県OB				
非常勤		14		2
内、県OB				
内、県職員		1		
計		14		2
内、県関係者		1		0

職員数

(人)

正職員	1	正職員 平均年齢	47歳
内、県OB			
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託		正職員 平均勤続年数	6.4年
内、県OB			
計	1		
内、県関係者	0		

【財務】

損益状況(16年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	5,879
受託事業収入	1,051
補助金収入	660
寄付金収入	3,845
運用益収入	309
その他	14
経常支出 B	5,682
人件費	2,281
その他	3,401
経常損益 C = A - B	197
経常外収入	
経常外支出	
当期損益	197

(百万円)

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

財務状況(16年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	1,464	2.6
固定資産	54,088	97.4
資産計	55,552	100.0
流動負債		0.0
短期借入金		0.0
固定負債		0.0
長期借入金		0.0
引当金等		0.0
負債計	0	0.0
基本金	54,088	97.4
剰余金	1,464	2.6
資本計	55,552	100.0
負債・資本計	55,552	100.0

(千円 %)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	中小企業退職金共済制度利用		

【県の財政支出】

(千円)

	14年度	15年度	16年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	2,436	1,099	1,051	健康推進対策事業
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	14年度	15年度	16年度	14-15増減	15-16増減
健全性	自己資本比率	%	100.00	99.94	100.00	0.06	0.06
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	-	-	-		
収益性	剰余金(欠損金)	千円	504	1,265	1,464	761	199
	経常利益率	%	1.28	9.45	3.35	8.17	6.10
	総資本利益率	%	0.17	1.13	0.35	0.96	0.78
発展性	経常収入額	千円	7,431	6,647	5,879	784	768
効率性	総資本回転率		0.14	0.12	0.11	0.02	0.01
	職員1人当たり経常収入	千円	7,431	6,647	5,879	784	768
	人件費比率	%	30.17	35.60	38.80	5.42	3.20

2 経営目標の達成状況

経営目標			14年度	15年度	16年度	17年度
経営改善指標	寄付収入額(千円)	目標		3,000	3,000	3,000
		実績	3,829	4,122	3,845	
経営改善指標	管理費(千円)	目標		331	321	311
		実績	440	440	439	
事業成果指標	学校保健ゼミナール参加者(人)	目標		0	0	260
		実績	271	276	243	
事業成果指標	事業の開催数(回)	目標		25	25	25
		実績	32	31	30	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

寄付募金活動を拡大して2年目になるが、中央、県北、県南と輪番制で回ってはいるものの定着するまでもう少し時間がかかりそうだが、このまま現状維持で続けていきたい。平成16年度も黒字財政となったが、かなり厳しい。総支出の管理費が占める割合が高いので、今後も事業費確保に努力していくつもりである。

4 総合評価

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
学校関係者に対する法人の事業内容の周知により、寄附金収入を増加することが望まれる。なお、事務の効率性等の観点から、法人のあり方についても検討が望まれる。	